

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

心機一転 新たな生活

10月末、これまで就労で頑張つてこられた利用者の方3名が退所された。いずれの方も、当法人で新設した「グループホーム吉備路」へ11月から移行されたためだ。

新設したグループホームは「日中サービスマイル支援型共同生活援助」という事業形態。簡単に言うと、グループホーム(生活の場)と(日中活動の場)が一つになったものだ。

10月下旬の土曜日。これまで一緒に作業に励んできた3名の仲間を気持ちよく送り出そうと、就労グループ・生活グループ一緒に大カラオケ大会を開催。中には職員さんとデュエットする方も。皆さん自慢のものを披露した。歌うほうも聞くほうも楽しいひと時を過ごすもの。

10月下旬の土曜日。これまで一緒に作業に励んできた3名の仲間を気持ちよく送り出そうと、就労グループ・生活グループ一緒に大カラオケ大会を開催。中には職員さんとデュエットする方も。皆さん自慢のものを披露した。歌うほうも聞くほうも楽しいひと時を過ごすもの。

ごすことができたようだ。

ところで、この記事を執筆している11月2日もいつもの毎日が流れている。事務所にいるといろんな声が飛びこんでくる。でも3名の利用者の方々の声はいつものようには聞こえてこない。やはり寂しい。

とは言え、新たな場所での新しい生活を始めた3名の方々、これからの人生もしつかり楽しんでほしい。所長もたまには皆さんに会いに行きます。

健康は歩くことから

10月、岡山県内のコロナ感染者数も減少に転じ、みぞくちの活動にも変化があった。これまで自粛していたウォーキングを再開した。今は週に2回のウォーキングだが、外での活動は

気持ちがいい様子。広々とした公園と季節感あふれる紅葉。そりゃー気持ちがいいはず。午前11時くらい体を動かし、美味しい昼食でお腹を満たすと、豊の上で気持ちよくお昼寝をさ

れる方もいる。健康的です。巷の状況がこのまま続けば、ウォーキングの回数も増やし、しっかりと体力作りも勧めていきたいと思う。

これから寒くなると外に出る事すら億劫になりますが、ちよつと古いですが、「いつやるの今でしょ」

日常に感じる四季

秋の日はつるべ落とし。最近では日暮れが早くなつた。同時に朝夕は冷え込むこともちらほら。日中も太陽が出ていれば暖かく、時には汗ばむこともある。が、曇りの日には肌寒さも感じる。衣類の調節は要注意。

そんなことを思いながら、みぞくちにある自動販売機に目をやると、HOTコーナーが増えている。ホットコーヒー・ホットお茶・おジュ

等々。定番から変わったものまで。

利用者の皆さんも休憩時には飲み物を購入される方もいる。それぞれに好みは違うが、意外と人気は「おじるこ」。小豆の暖かな甘さが心も体もホッとさせるのだろう。

日常の様々な季節の移り変わりをを感じる。利用者の方皆さんも日本の四季を季節ごとにしっかりと感じてほしい。

ちよつと一息

先日、利用者の方と話をしていると、晩御飯はだれが作るかという話題になった。所長は自分が作ることもあれば奥さんが作ることもある。その利用者の方は作ることはないが、食べた後の食器の片づけはすると教えてくれた。

そういえば、所長が実家で育ったころには上げ膳据え膳で自分がすることは何

もなかった。わが子供たちには、食べた食器は自分で片付けようと教えてきた。今の所長は自分で作りもするし、食べた後の食器洗いもする。

日々の生活で自分ができている事は何か、相手を思いやる行動は何か、そんなことを必然的に考えた結果とも感じる。良好な人間関係とはこういったことの積み重ねなんですよ。